

目指す学校像 ①生徒の笑顔にあふれ、明日も登校したくなる学校 ②保護者にとって、安心して子供を登校させることのできる学校 ③地域とともに歩み、協力を得られる学校 ④「チーム」として、迅速に課題を解決する学校			
教育目標	自 立 よく考える人になろう	勤 労 すすんで働く人になろう	協 調 ともにたすけあう人になろう
目指す生徒像	基礎的な学力が定着し、生涯にわたって、主体的に学び続けることができる生徒	夢や理想の実現に向け、自尊感情や自己肯定感を高め努力を惜しまない生徒	自他を大切にし、進んで人のために行動できる生徒
重点目標	<第1学年> 根拠に基づき論理的に考える。 <第2学年> 多角的・多面的な視点で考える。 <第3学年> 自ら課題を発見し解決に向けて考える。	<第1学年> 自分について知り、よい点を見付ける。 <第2学年> 自分の将来や職業に関心をもつ。 <第3学年> 自分の進路を選択し、切り拓く。	<第1学年> 積極的にあいさつをする。 <第2学年> 感謝の気持ちをもって人と接する。 <第3学年> 相手の立場にたって行動する。
主な具体的方策	① 各教科等において育成すべき資質・能力の内容を明確化する。 ② 基礎・基本の定着に向け、ICT機器の活用など分かりやすい授業を行う。 ③ 新学習指導要領の趣旨及び人権教育（いじめの防止等）の趣旨をそれぞれ実現するための授業を展開する。 ④ 家庭学習の定着と主体的な学習態度を育成するための取組を強化する。 ⑤ 新たな指導・評価計画の作成など、新学習指導要領の実施に向けた取組を計画的に進める。	① 自らの自信につなげることができる体験学習やキャリア教育を充実させる。 ② 自分は人のために役立っているということを実感させるボランティア学習を行う。 ③ 社会性や公共性を培うための生徒会活動、委員会活動、部活動を行う。 ④ 部活動への積極的な参加を促すとともに、日常を通じた健康・体力づくりを進める。 ⑤ 日常生活の中に潜む様々な危険を予測し、回避する能力を身に付けることで、他者や地域社会の安全に貢献できることをねらいとした安全指導を実施する。	① カリキュラム・マネジメントの視点に立った、人権教育の指導計画を作成する。 ② いじめや不登校の未然防止に向け、生徒たちの「居場所づくり」と「きずなづくり」につながる学級経営を行う。 ③ 指導と評価が一体化した「特別の教科 道徳」の授業を確実に行う。 ④ 人権教育と関連させた、聞こえの学習や障害理解学習を一層進める。 ⑤ 関係諸機関と連携を図りながら、保護者にとって、一層相談しやすい教育相談体制を確立する。
目指す教師像 ①生徒を認め、生徒と共に学び続けることのできる教師 ②生徒の自己実現を支援できる教師 ③生徒の心に寄り添うことのできる教師 ④教育公務員としての自覚をもって、職務を遂行する教師			